

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	道路等維持管理事業					継続							
コード	70	-	23	-	03	-	00	予算事業名	道路等維持管理				
担当部署	建設部	道路環境整備課			予算事業コード	会計	10	款	08	項	02	目	02

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 無 法令による実施義務 義務

基本目標(章)		根拠となる法令、条例等	道路法
方向性(節)		個別計画等の名称	なし
施策			
細施策			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民を対象に、道路に係る公共の福祉を増進するために実施する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	道路を常時良好な状態に保つよう、比較的小規模な道路舗装の修繕等や、排水ポンプ・街路樹等の道路施設の維持管理を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		264,169	248,123	239,821	227,192	347,592	
事業費	A	263,782	230,607	233,193	222,822	347,592	250,000
	B	81,400	81,400	81,400	74,000	59,200	59,200
総コスト(C=A+B)		345,182	312,007	314,593	296,822	406,792	309,200
正規職員(1年間の従事人数)		11.00人	11.00人	11.00人	10.00人	8.00人	8.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	24,000	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		345,182	312,007	314,593	296,822	382,792	309,200

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	作業員賃金人工	人	4,172	3,138	2,735	2,398	比較的軽微な修繕等に係る人工
成果	小規模修繕件数	件	302	221	140	153	小規模な修繕等の件数
成果	業務委託件数	件	25	26	26	42	維持管理等に係る委託の件数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		各種維持管理を着実にやっている。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
<p>インフラに係る維持補修については、事故を防止したり、構造物が本来持つ機能を維持することが目的となる。その必要性は高いのだが、新しい何かを作り出すことと比較すると、必要性について認識されるのが難しい。また、予算・人員が減少する中でできる限り効率を上げているが、人員や予算などの費用をかけることで効率がよく、その費用に対して増える市民サービスは質・量ともかかる費用より多いと思われる。ただし、それは数値では測ることは難しい。</p>	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	<p>インフラの維持補修が適正に行われなくなり、サービスが低下する。</p>
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
<p>道路の安全性・快適性を保つための経常的な管理業務であるため、適正に実施していきたい。</p>	